

鬼怒テクノ通り希少動植物種モニタリング検討会

第33回 議事録要旨

【第2部 真岡バイパス・真岡北バイパス工区】

日 時：令和2年1月20日（月） 18:30～19:00

場 所：ニューみくら305会議室
栃木県宇都宮市昭和1-3-6

検討内容：1. 第32回検討会・令和元年中間報告・第33回検討会事前説明 議事録要旨
2. 令和元年 事後調査結果
3. 令和2年以降の事後調査計画（案）

議事要旨：1. 第32回検討会・令和元年中間報告・第33回検討会事前説明 議事録要旨

・了承された。

2. 令和元年 事後調査結果

・了承された。

【検討会委員からの意見】

・昨年、このエリアのオオタカの生息地については、堀内南地区の環境改変等、木が切られたり土が盛られたりといった状況が確認された。最初に造った巣のすぐ側での工事によって巣を移動したが、なんとか繁殖成功したということで本当に良かったと思う。真岡の自然を守る会としても、堀内南は今までずっと成功してきた場所でもあり、非常に重要なオオタカの繁殖地であると思っている。今日、真岡市の環境課にも来ていただいているので、要望として、このエリアにもう少し関心を持っていただき、注目して見て頂きたい。今後このような状況が続けば、ここで繁殖できなくなってしまうかもしれない。開発行為の抑制は難しいと思うが、大切さを訴え、理解を求めることも必要である。

・オオタカの長田地区は、昔繁殖して以来、しばらく繁殖兆候が確認されていなかったが、昨年失敗はしたけれども抱卵と思われる行為を観察されたとのことで、また戻ってくると良いと思う。真岡・真岡北バイパス工区は、サシバに比べてオオタカの繁殖失敗が多く、堀内南しか成功していないため、我々も今後関心を持って見ていきたいと思っている。

・オオタカの長田地区は、ずっと繁殖に失敗していたところ、本当に久しぶりに抱卵まで確認されたということは非常に貴重な事例だと思うので、今後も注意深く見ていただき、引き続きここで繁殖が継続できたら良いと思う。今回の様子を見ても、5月くらいに新しい巣が見つかったということで、全体的に繁殖スケジュールが遅く、恐らく最初にオスがいて、後からメスが入ってきて、少し遅れて繁殖に入ったと思われる。不安定な状況は来年度もあまり変わらないかもしれないので、ぜひ注意深くかつ粘り強く見ていただきたい。

3. 令和2年以降の事後調査計画（案）

・了承された。

【検討会委員からの意見】

・今年、井頭公園の南側の方でオオタカの成鳥が見られており、カモかなにかを捕獲した痕跡もいくつかあり、今まであまりこういうことはなかった。本地区

で関連があると思われるのは、堀内北地区や井頭公園東地区であるので、調査をする際には特に注意して見ていただきたい。

- ・来年度は、基本的に本年度と同じ調査をするということで良いのか。資料3-2pや資料3-4pには行動域調査等が入っているが、これは誤りか。

【調査機関からの回答】

- ・今後行う調査の内容をまとめて示しており、令和2年度は行動域調査は実施しない。資料3-4pの表3.1調査工程の中では、繁殖兆候調査、繁殖確認調査、土地利用変化の確認を行う。

【検討会委員からの意見】

- ・調査内容について了承した。
- ・資料3-4pに注意書きはされているが、各つがいそれぞれ微妙に繁殖ステージがずれているため、一律に行うというよりも、繁殖ステージに合わせて確実に繁殖状況を把握していただきたい。先程も申し上げたが、オオタカは久しぶりに繁殖に入った所は不安定で巣が動く可能性があり、サシバについても何箇所も巣を作る様子が見られているため、その辺も含めてしっかりと見ていただきたい。

4. その他（次回検討会について）

- ・開催時期（R2.9月頃：中間報告／R3.1月頃：検討会）について了承された。